

○中国圏広域地方計画の見直しに関連した意見・提案

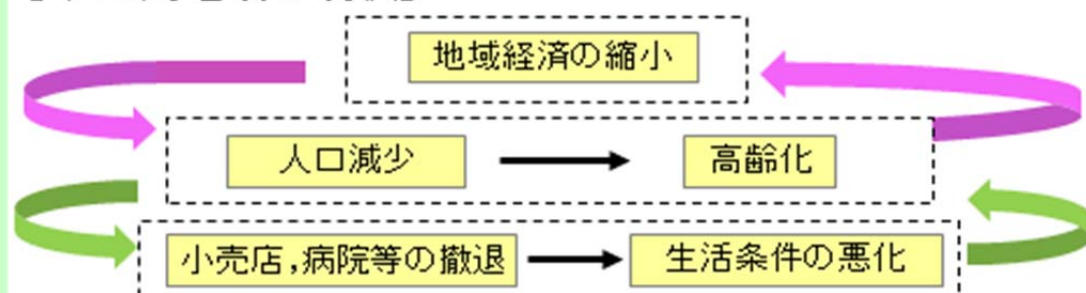
岡山大学 佐藤豊信

★中国地域が、今後とも持続的に発展を続けていくために何が必要か

- ◆地方での働く場の確保（労働集約型産業の誘致，農業は有望，高齢者も働ける産業誘致・環境づくり）
- ◆通勤を便利にするため道路整備
- ◆地域内マーケットの活性化：地域内の付加価値を地域内でキープ
- ◆中国地域内の各エリアを，中核となる都市，町・街・集落などに分類し，それぞれのエリアにおけるの機能・目的をなどを明確にし，各エリア内での活性化を図ると同時に，各エリアをネットワークでつなぐことにより中国地域全体を活性化できる対策を講じる。
- ◆将来的に人口減少していく地域のゾーニング。しかし、そうした地域でも，一足飛びに人口がゼロになる訳ではない。現状から最終段階への移行をどれだけスムーズに実施できるかが重要。計画的なインフラ投資（ソフト・ハード）
- ◆中核エリアへの移動が完了するまでは，生活条件不利地域で生活している買い物弱者・生活弱者への支援が必要（ただし，可能な限り低コストで）。中山間の高齢者の生活支援システムは重要。
- ◆地域の人々が持つ技能資源の活用が重要

研究の背景

【中山間地域の現状】



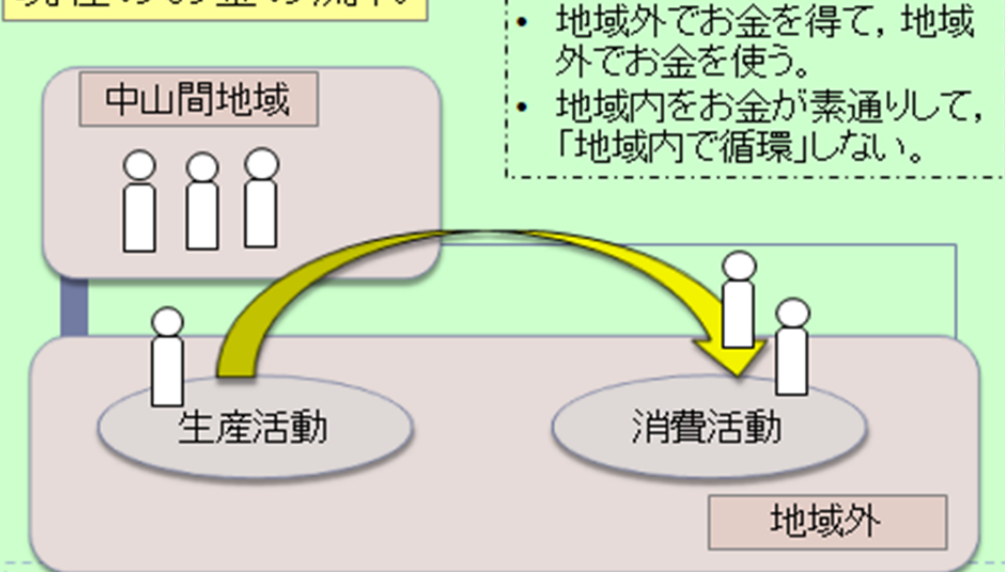
【課題】

- 1) 地域経済の活性化による、所得創出機会の確保
- 2) 生活条件の不利の是正

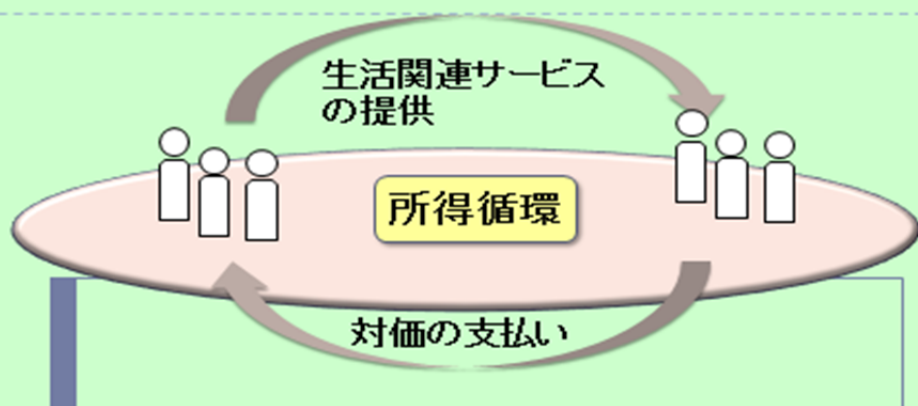
◎しかし、国家財政の現状を考えると
中山間地域の維持・発展に向けた大規模開発投資は困難である。

中山間地域の活力低下の理由

現在のお金の流れ



中山間地域の活性化への課題



- この様なシステムを「低コスト」で構築し、「持続的なもの」とする必要がある。

研究課題

- I) 供給可能なサービスの種類の計測
- II) サービスに対する需要量の計測
- III) 住民のサービス供給意向の計測
- IV) サービス毎の価格・供給量・供給方法の検討
- V) サービスの需給マッチングシステムの構築



中山間の地域社会の維持・発展に向けた一方策を提示

技能資源の活用可能性

【住民の技能を活用した生活関連サービス】

サービス名	内容
自家用車での送迎	住民の自家用車による、市の中心市街地までの送迎。
通院の付添い	住民の自家用車による病院への送迎、及び院内での付添い。
草刈り	草刈り機を使用した、私有地の草刈り。
除雪	私有地の除雪(雪下ろしは含まない)。
農作業の手助け	草取りや資材の運搬等、農業機械を用いない作業に限る。
家事手伝い	料理、洗濯、掃除、ゴミ出し等。
話し相手	利用者宅に訪問し、世間話や悩み事相談の相手となる。
買い物代行	買い物を代行し、利用者宅へ配送。
役場での手続き代行	住民票の発行等の代行。
安否確認	定期的にご利用者宅を訪問し、安否を確認。 遠方家族への安否情報発信。

対象地域の概要

【対象地域】
岡山県真庭市T地域 (旧T村)

人口：1546人(528世帯)
高齢化率：41.6%

生活環境：

- ・スーパー、病院等の生活関連施設は地域内に無い
- ・中心市街まで車で20～30分

産業：林業が盛んであったが衰退。
⇒地域に十分な就業機会が無い



【対象地域の位置】

対象地域の概要



下図：国土地理院（電子国土 web）

その為に、施策など行政に期待するものは何か。

- ◆人のネットワークをどう作るか
- ◆人のネットワークを機能させるためのノウハウトレーニング